

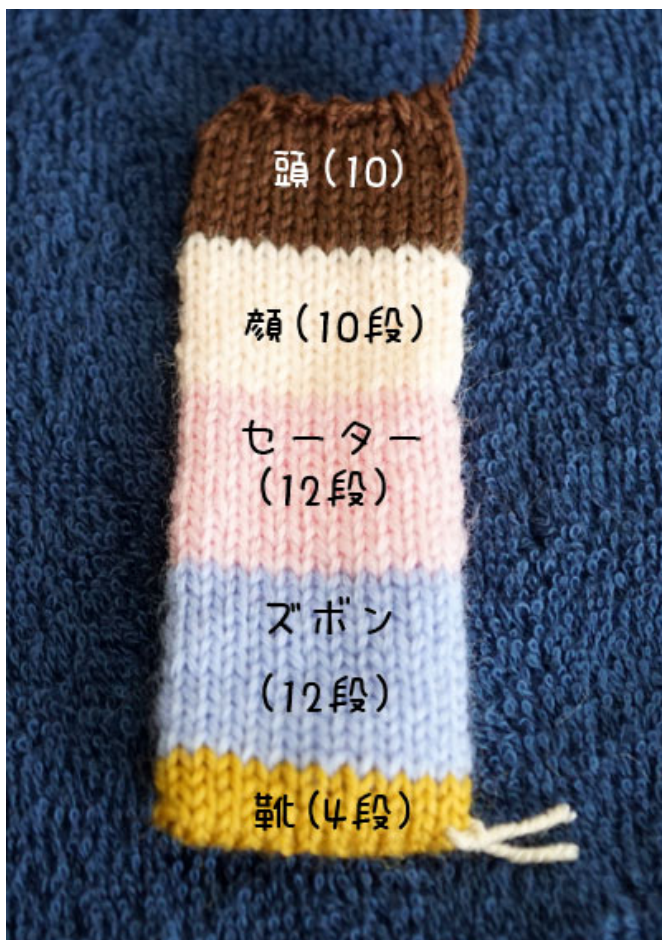
くるくる編みの小さな人形

■ 道具

使用糸：中細（靴の色、ズボンの色、セーターの色、顔の色、髪の毛の色、帽子の色）手芸綿少々
使用針：2.5mm(1号)長めの輪針（マジックループ用）※クンスト針でもよい

■ 本体（靴から頭まで）を編む(輪、すべて表編み)

1 段	靴の色で Turkish Cast-on（ソックスのつま先の作り目）で 24 目を作り表編みでぐるりと 1 周編みます。（24 目）※輪になる作り目なら何でも可。
2 - 4 段	靴の糸のまま、増減目なしで輪編みします。（24 目 3 段）
5 - 16 段	ズボンの糸に変えて、増減目なしで輪編みします。（24 目 12 段） ※足を少し長くしたい場合は適宜調整してください。
17 - 28 段	セーターの糸に変えて、増減目なしで輪編みします。（24 目 12 段）
29 - 38 段	顔の糸に変えて、増減目なしで輪編みします。（24 目 10 段）
39 - 47 段	髪の毛の糸に変えて、増減目なしで輪編みします。（24 目 9 段）
48 段	左上 2 目一度で減目して目数を半分にしますが、止めずにおきます（綿を入れるため）



■ 胸当てを編む(往復、模様自由)

1 段	ズボンの糸で、ズボンの最終段から 8 目を拾います。 拾いにくいときには、かぎ針を使うとよいでしょう。
2 段～	段数は模様によって変わりますが、Tシャツよりは上にならないように注意。 ガーター編みだと 10 段くらいが目安です。
最終段	伏せ止めをします。
<p>両脇の端からヒモを編みます。かぎ針の鎖編みで編んでいますが、好きなコードでよいでしょう。長さは、後に回してお尻のところで止められる程度(6cm くらい)</p> 	

■ 帽子を編む(輪編み)

顔	帽子の色で 32 目作り輪にする
1-14 段	表編みでぐるぐる(32)
15 段	左上 2 目一度全目(16)
16 段	増減なし表編み(16)
17 段	左上 2 目一度全目(8)
18 段	増減なし表編み(8)
19 段	左上 2 目一度全目(4)
20 段	増減なし表編み(4)
21 段	増減なし表編み(4)
最終段	とじ針に通して絞り、糸始末します。
	

■ 仕上げ

1. 48段目（頭のとっぺん）から綿を入れます。
2. 編み終わりの二目一度を絞って閉じます。
3. 顔とセーターの間に糸を通し2回巻いて、ギュッと締めます。（首）
4. ズボンと腕をとじ針で半返し縫いします。手はポケットにつっこんでいるイメージなので、胸あてからズボンぐらいまででいいと思います。綿をあらかじめ寄せて縫います。股下は、ズボンの半分より少し上から縫い始めるとよいでしょう。あらかじめ印をしておくともっすぐに縫えます。
5. 胸当てのヒモを後ろに回してお尻のところで止めます。



6. 帽子をかぶったときに見える前髪や横髪を、針などを使って縫いつけます。サンプルの目は、黒い糸で刺繍をしています。頬は、チークシャドウ、クレヨンなどで塗ります。
7. 帽子をかぶせて完成！（帽子のパターンは別です）

